

六中の教育目標は、「敬愛」「勤勉」「創造」です。この目標の達成のために全ての教育活動が行われています。特に本年度は「創造」に向けての活動を重視していきます。授業での話し合い活動の工夫や特別活動の充実を通し、自主性や主体性を育み、創造を生み出していきたいと考えております。

また、本年度は教育目標の達成に向けて 10 の取組を掲げております。

### 具体的な 10 の取組

- ① 学力(新しい時代の創造を生み出す学力)の向上
- 毎日の授業を大切に  
(対話的協働的学びへの授業改善 新・六中スタンダード)
  - 朝読書の徹底 ● タイムマネジメントの継承、推進
  - 家庭学習(自主学習支援、学習支援ソフトの利用)の充実
  - 各種検定への挑戦の推進
  - コミュニティ・スクール学力向上プロジェクトとの連携
  - 学習環境の整備 ● 学力診断の実施
  - 英・数における習熟度・少人数授業

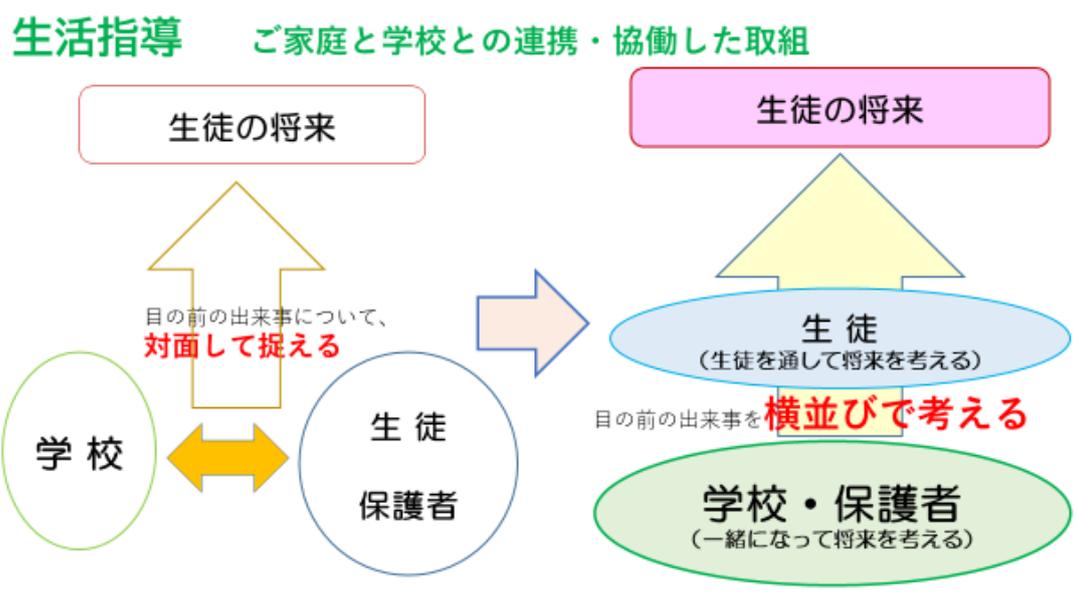
- ② 生活指導の充実
- 生徒や保護者との信頼関係が基本
  - 話し合いやふれあいを大切に生徒理解と指導の徹底
  - 社会性の育成、校内規律の確立、規範意識の向上
  - いじめを許さない ● あいさつと礼儀
  - 生徒の自発性と主体性を育む、生徒会活動の充実
  - コミュニティ・スクール健全育成プログラムとの連携

- ③ 自己実現の達成を図る
- 生きる力の育成(進路・進学指導の充実、  
こだろくスキルの声かけと掲示)
  - 人間関係形成力の育成
    - 特別活動の充実(達成感成就感を感じる工夫)
    - 話し合い活動の工夫 ○ 自主性や主体性の育成
    - 集団の中で認められる経験
  - コミュニティ・スクール、キャリア教育の連携
    - 職業講話 ○ ようこそ先輩
    - 高校入試支援(面接対策、作文対策)
  - 生徒の個性・適正の把握
    - 職業レディネステスト ○ 復習テストの実施
    - 生徒の資質・個性の伸長と  
適正を生かした進学指導

- ④ 地域の教育力の活用、小中連携教育の推進
- コミュニティ・スクール各種プロジェクトの推進
    - 学力向上プロジェクト
    - 放課後学習教室(ジョイナス) 定期テスト対策他
    - 健全育成プロジェクト
    - あいさつ運動 部活動体験 地域清掃 他
    - キャリア教育プロジェクト
    - ボランティア体験 講話 マナー講座 他
  - 六中地区コミュニティ・スクール活動の推進
    - 地域教育力活用・向上 ○ 小・中連携

- ⑤ **心身の健康促進**
  - 体力向上と適正な生活習慣作り
  - 豊かなスポーツライフの創造
  - オリンピック・パラリンピック教育 ● 食育の充実
  - 生命尊重の精神の育成、道徳の授業の充実
  - **不登校支援**
    - 学力の保障：学習支援ソフトによる学び直し
    - 社会性の保障：小平福祉園との連携による学習教室、農園芸教育の推進
- ⑥ **家庭・地域社会との連携**
  - 情報発信の充実。
    - 学校・学年・学級だよりの発行
    - ホームページ、一斉メールなどによる情報発信
  - 地域との連携
    - ボランティア活動の充実 ○ 地域行事への参加
    - 六中学区小学校の学校行事等ボランティア参加
- ⑦ **環境教育と環境の整備**
  - 学習環境の整備
  - 毎月の安全点検の実施、迅速な対応
  - 毎日の清掃活動の充実
  - 校舎内外を明るく
    - 季節を感じる環境 壁面の有効活用
- ⑧ **防災教育の充実**
  - 防災教育・安全指導の実施
    - 自助 ○ 共助 ○ 公助
  - 避難訓練の充実
    - 引き渡し訓練、集団下校訓練の実施
    - 防災に対する知識と技能の習得
  - 保護者・地域との連携（いっとき避難所）
- ⑨ **特別支援教育の推進**
  - 特別支援教育校内委員会の充実
    - ・ スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーとの連携
    - ・ 教育相談活動の充実
  - 不登校生徒対応
    - ・ 学校運営協議会との連携
    - ・ 他機関との連携による登校支援
- ⑩ **学校事務**
  - 分掌との円滑な連携と効率的な予算執行
  - 学校環境の整備 ● 提出書類の期限厳守
  - 適正な会計処理 ● 法令遵守、服務規律の徹底

特に生活指導面で大切なことは、お子様の将来について一緒に考えていくことです。よくある残念なことですが、起きた出来事に対して対峙して捉え、結果的に子どもの思いは横に置き、話が子どもの将来のことから離れてしまうことがあります。学校も家庭も思いは同じで、子どもの健やかな成長と将来自立した社会人になることです。お互いに歩み寄って一緒に考えていきましょう。



今年度、特に力を入れていきたいことが不登校支援です。六中の不登校支援を4段階に分けて取組む予定です。ご家庭から中々外に出られないお子さんから、クラス活動への復帰まで、それぞれのお子様の実態に合った支援を選択できるように取り組んでいきます。

## 6中の不登校支援

	学力の保障	社会性の保障	対象生徒	指導体制
個々のケースによる個別対応 校内別室タブレットスタディサブ学習	自習タブレット(スタディサブ)学習	休み時間や給食の時間参加	登校に向けての生活のリズムづくり。 教室復帰を前提。	個別対応で参加。校内委員会など連携。原則、担任や学年教員他。
週1回校内不登校対応教室(上水学級教室利用)	タブレット(スタディサブ)学習他	休み時間や給食の時間参加	学校の敷地内に入りづらい不登校生徒。生活のリズムづくり。	週1回(木曜日)3~6校時。不登校対応巡回教員。
あゆみ教室(適応教室)	学習の時間	特別活動	不登校生徒。あゆみ教室まで通える生徒	あゆみ指導員
小平福祉園学習教室居場所づくり	自宅でタブレット(スタディサブ)学習	CS農園芸教育	不登校生徒。あゆみ教室に通えない、コミュニケーションや居場所づくりが目的	SSW、CS、小平福祉園職員、不登校対応巡回教員他 木曜日10:00~12:00

今年度の重点的な取組について、見やすいように図に表しました。授業改善、特別活動の充実、不登校支援に力を入れ、創造性の育成や居場所づくり、絆づくり、不登校生徒の削減につなげていきます。



最後に六中のコミュニティースクールについて紹介します。

六中のコミュニティースクール制度は、今年で10年目となりますが、学校教育ではなかなかできないところまで、活動しております。現在は「学力向上プロジェクト：放課後学習教室（ジョイナス）」「健全育成プロジェクト：あいさつ運動、部活動体験他」「キャリア教育プロジェクト：職業講話他」としてお子様の成長に必要な様々なことを小学校とも連携して行っています。

本年度は不登校支援として六中CS農園芸教育も始まりました。地域ぐるみで持続可能な社会の担い手づくりを行っていると言えるでしょう。

保護者の皆様も、ご理解の上、今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

